

# 越中一宮

<https://www.takase.or.jp>

## 七月・八月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日）

七夕祭並びに技芸上達祈願祭（七月七日）

除熱祭（七月二十一日）

人形感謝祭（七月二十四日）

中禮祭（八月十六日）



撮影：南部スタジオ

# 日本の新しい習慣として。

## 夏詣

なつもうで

師走の大祓、初詣。夏越の大祓、そして夏詣。夏から冬の健康と平穩をお祈りしましょう。

期間 七月一日(木)～七日(水)



## 洪沢栄一翁

宮司 藤井秀嗣

明治二十三年七月一日、帝國議會 第一回衆議院議員選挙が行われました。この時、「近代日本経済の父」と称えられる洪沢栄一も推薦されたそうです。

その生涯は現在、NHK大河ドラマにもなり、著書『論語と算盤』も注目されています。

利潤追求の世の中を案じ、私利私欲を戒め、公益を追求する「道徳」と、利潤を追求する「経済」とが事業において両立しなければ健全な社会にはならないと考え、我が国の資本主義という新しい制度の設計に深く関わり、世のため人のためにと、数々の偉業を成し遂げました。

## 明治天皇御製「祝」

国民の

つくす力によりてこそ

世はにぎはしく

なりまさりけれ

(訳) 国民が国のために一生懸命に尽くす力によってこそ、世の中は繁栄し、賑やかさを増すというものである。

これは明治神宮刊 新版「明治の聖代」の中の七月一日のページに掲載されている御製です。

コロナ禍にあり、経済はもとより日常生活全般にわたり混乱しているわが国の現状

に、私たちは今何をなすべきなのかを考えたとき、明治天皇の御代に経済という面で国づくりの生涯を捧げた洪沢栄一の精神を改めて学ぶことが必要ではないかと思えます。

明治天皇御製にあるように、私たち国民一人ひとりが力をあわせ、社会の安定に力を尽くすことでこの難局を乗り切れると信じます。個人のことも大切ですが、今は自分以外のことを(損得抜きで)心配する優しさが必要なのではないでしょうか。多くの人が苦境の中にあります。洪沢が道徳の大本とした『論語』の中に、その脱出のヒントがあるかもしれません。まだしばらく続くステイホームの時間に『論語』や『論語と算盤』などを読んでみてはいかがでしょうか。

## 春の大祭 春季祭

篤志奉納奉告祭を  
あわせて齋行

当神社の春の新行事「桜詣」で、ご社頭の賑わう四月十日、恒例の春の大祭である春季祭を齋行しました。

当日は篤志奉納者の有限会社ソムリエ・ヨシオカ代表 吉岡嘉憲氏(砺波市庄川町)にご参列いただき、その篤い崇敬の念に対し、宮司より感謝状並びに記念品を贈呈しました。



有限会社ソムリエ・ヨシオカ代表 吉岡嘉憲氏には、新参集殿(披露宴会場) 厨房業務用大型冷蔵庫をご奉納いただきました。

祝祭日には

国旗を掲げましょう

# 祈年穀祭齋行

— 五穀豊穰の祈りを込めて —

初夏の風が井波の里を駆け抜ける六月十日、農作物を蝕む害虫を追い払い、その年の豊作を祈念する祭事「祈年穀祭」を齋行しました。



昨春より続くコロナ禍での齋行となる本年も、代表者のみ参列いただくことになり、石岡敬夫、藤井秀之両責任役員、井波地域農業者会会長 水野敬一氏、本年度の献穀田奉耕者 青山雄一郎氏、高瀬区長 石川憲明氏ご参列のうえ、ご祭事滞りなく厳修いたしました。

当日は、参向使をお務めいただいた、砺波地区農業協同組合協議会 幅田浩司氏により五穀豊穰の祭文が奏上され、田畑の平穏と農作物の無事の育成を祈つて、神前神楽「浦安の舞」が厳かに奉奏されました。

また、祭典にあわせて、今般蠟燭染の手織作品をご奉納いただきましたました香川真有美氏に、宮司より感謝状、また記念品が贈呈されました。

## 祈年穀祭 御神火、巡行。



古式に則り忌火を鑽り、町をめぐる

六月十一日、祈年穀祭翌日のこの日、大神様の御神霊と、祭儀の中で古式により鑽り出された御神火が、砺波野の里々を巡行しました。

御旅所は、なんと農業協同組合、福光農業協同組合、いなば農業協同組合、となみ野農業協同組合の四カ所。例年のごとく各事業所の皆様お揃いでお迎えいただき、農作物の順調な育成と五穀豊穰を、滞りなく祈念申し上げ、無事、還幸しました。



古式により鑽り出された御神火に一拝

## 昭 | 和 | 祭 | 齋 | 行

昭和天皇のご聖徳を讃えて

「昭和の日」として親しまれている四月二十九日、境内の樹々も新緑を薫らせる中「昭和祭」を齋行しました。

我が国の終戦後の復興とその後の目覚ましい発展など、昭和天皇のご聖業の数々に思いを馳せ、皇室の益々の弥栄と国の隆昌を祈念しました。



## 月次祭参列のご案内

高瀬神社では、氏子崇敬者の皆様にも月次祭にご参列いただき、ご家族の平安と繁栄を祈念しております。ご参列をご希望の方は、社務所までお問い合わせ下さい。

日時 毎月一日・十三日

午前十時（一月一日を除く）





田の面を渡る風も爽やかな五月二十三日、当社献穀田にて御田植祭が斎行されました。  
可愛らしい早乙女の衣装に身を包んだ五名の奉仕生徒により苗が植えられ、本年の献穀田奉耕者 青山雄一郎氏他ご関係の皆様が、豊作の祈りを込めて玉串を捧げました。

献穀田奉耕者 青山雄一郎氏  
井波地域農業者会会長 岩崎 修氏

ひと株ひと株、心をこめて



### 御田植祭斎行



### 八乙女山風神堂例祭

六月六日、南砺市観光協会井波支部会員各位ご参列のもと、八乙女の山中に鎮座する風神堂の例祭を斎行しました。  
古くより大きな風害をもたらすといわれる「井波風」を鎮める為に建立されたこの風神堂、今般、鳥居のしめ縄も新たに、清々しくご祭儀ご奉仕いたしました。



すといわれる「井波風」を鎮める為に建立されたこの風神堂、今般、鳥居のしめ縄も新たに、清々しくご祭儀ご奉仕いたしました。

### 献花祭斎行

六月十二日、高瀬遺跡「しょうぶ祭」に併せ「献花祭」を斎行しました。本年のご参列は高瀬遺跡保存協会会長 谷口信夫氏、高瀬地域づくり協議会会長 橋場武志氏、南砺市埋蔵文化財センター所長長岡芳典氏他の皆様。  
今年も大神様には初夏の彩りをお楽しみいただけたことでしょう。



権禰宜 山森 信人  
やまもり のぶひと  
平成五年 六月一日生まれ

### 新任のご挨拶

東京の神社本庁にて様々な勉強をさせて戴き、此度郷里である井波の地へ帰って参りました。一日も早くお役に立つことができるよう誠心誠意、ご奉仕してゆきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

### ご祈祷のご案内

高瀬神社のご祭神は福の神、縁結びの神、医薬医療の神として全国より広く崇敬を集める大国主命（大国さま）です。

当神社では、交通安全（車のお祝い）・家内安全・良縁成就（縁結び）・心身健全・厄除け・病氣平癒他のご祈祷を、心を込めて毎日ご奉仕しています。

お気軽に社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈祷料 1件につき5,000円より  
高瀬神社社務所 0763 (82) 0932

### 安産祈願 戌の日カレンダー

7月	18日・13日・25日
8月	6日・18日・30日
9月	11日・23日
10月	5日・17日・29日
11月	10日・22日
12月	4日・16日・28日

腹帯のお祝いもご奉仕いたしますのでどうぞご持参下さい。

当社では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、拝殿に次亜塩素酸空気清浄機・飛沫感染防止パテーションを設置しております。安心してご祈祷をお受け下さい。



シリーズ

大国さまの

## 牛嶽社めぐり

第一回 牛岳山頂  
牛嶽大明神

富山県南東部、砺波市（庄川町）・富山市（山田村）・南砺市（利賀村）に跨る海拔九八七メートルの山が「牛岳」です。

山頂には花崗岩で造られた社殿が建立されており、当社社の東の方向に位置します。御祭神は大国主命で、伝承の中に高瀬神社と牛岳との繋がりを確認することができます。

牛岳は「宇志多氣」とも書き、「宇志」は「主（ぬし）」、「多氣」は「はく」であり、その土地を治めることを示します。人々は大神の御神徳を讃え、この山のことを大国主の山↓主の山↓主の嶽↓牛嶽と呼ばれるようになりまし

現在、牛嶽社は当神社の奥宮と称され、牛に乗った「大国主命像」が祀られているほか、牛嶽の周辺には大己貴命（おのおのむちのみこと）（大国主命）が御祭神である牛嶽社、牛嶽神社、宇志多氣社など約四十社存在します。

本号より、高瀬神社の神奈備山である牛岳周辺に鎮座する神社を紹介させていただきますので、是非ご参拝下さい。

神社名	牛嶽大明神
鎮座地	牛岳山頂
御祭神	大国主命
例祭	六月六日
宮司	藤井秀弘
神事行事	
例祭・開山祭	（六月六日）



花崗岩で造られた社殿

本年も六月六日（日・大安）午前十時より、「例祭並びに開山祭」を執り行い、山からの豊かな恵みに感謝し、夏山入山者の安全と健康を祈りました。



～祭の力で日本の復興を～  
にっぽんさいこう

改めて日本を考える「日本再考」、祖国を誇りに思う「日本最高」。そして、日々齎行される祭りの力で再興を果たす「日本祭興」。  
これは、折りの力で日本の真の復興をめざす、神道青年全国協議会が作成したシンボルマークです。

## 伊勢の神宮写真展

期間 8月1日(日)～16日(月)10:00～16:00

場所 高瀬神社参集殿

伊勢の神宮への参拝がままならない今、数々の貴重な写真を通して日本人の心のふるさとを身近に感じて下さい。



### 社報バックナンバーのご案内

当社社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典や行事の詳細や沿革など、過去の記事もご参考になさって下さい。





## 大国さまの処方せん①

「コロナ厄災の現状に思うこと。  
米国の現状からみた終息のシナリオ」

南砺市民病院 副院長 品川 俊治

高齢者のワクチン接種が南砺市でも軌道にのり、七月中には全高齢者に接種が終了する見込みという。一〇〇年に一度と言われるこの厄災も、国民生活に過酷な負担を強いながら、ようやく終息の道筋が見えてきた所である。収束の鍵はワクチン・集団免疫である。初の実用化mRNAワクチンであったが、深刻な副作用も希で効果は九五%という。インフルエンザワクチンの効果が七〇%程度であることを考えるとかなり優秀と言える。一方で接種を推進すべき行政のお粗末さが際立つ。大都市部では医療逼迫度は依然高く、通常医療縮小の憂き目をよそに、政府はオリンピックを強行する姿勢である。感染分科会の尾身先生が「今の現状でやるのは普通ではない」と発言されたように、専門科の意見が反映されないまま五輪へ突き進むことに不安を覚える。感染症対策は政治ではなく科学的であるべきである。ワクチン接種の先行する米国の現状から日本の未来が見える。五月十四日にはCDCより、接種の完了者は日常生活の大半でマスク着用や社会的距離の確保が不要と発表された。MLBではプレイブスが五月七日から観客動員制限を解除、五月三十日、伝統のインディアナポリス五〇〇マイルレースでは十三万人を動員。グランドスタンドは満員で、マスクをしている人はほとんどいない。大きなイベントではPCRの陰性や、ワクチン接種完了を証明するワクチンパスポートが利用されているという。誤解の無いよう、ワクチン接

種後十分な防御抗体が出来るまでには数週間かかるので、引き続き慎重な行動を御願いしたい。変異株においてもワクチンの有効性は証明されており、医療崩壊を防ぎつつ、ワクチン接種をスピードアップして欲しい。不自由の中で多くの発明、工夫があり、コロナ前後で生活は大きく変わった。全世界的にコロナ禍が終息し、より明るい未来の到来を大国様に祈願しつつ筆を置く。

品川俊治先生

南砺市民病院 副院長  
内科部長  
呼吸器センター長

富山医科薬科大学医学部医学科  
(現富山大学医学部) 卒業。  
長年に亘り北陸地域の呼吸器疾患の治療に携わり、「患者さんに寄り添う、全人的な医療」を目指し、日々診療にあたっている。

医薬医療の神として知られる大  
国主命(大国さま)のご神徳にちなみ、本号より連載をスタートしたこのコラムは、毎号、専門家の方に寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。



「アマビエ」  
木村正和 (令和2年出品作品)

期間 7月23日(祝)~25日(日)10:00~16:00  
場所 高瀬神社 参集殿

慣れ親しんだ人形とのお別れは寂しいもの。ここにはそんな心を優しく癒してくれるひとときがあります。  
県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部 秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの共演——。  
心ゆくまでお楽しみ下さい。

## 第21回 人形展 ~ 一期一会 ~

## 人形感謝祭 — 思い出をありがとう —



日時	7月24日(土) 10:00より
場所	高瀬神社御本殿
受付	7月23日(祝) 9:00~15:00 7月24日(土) 9:00~9:45
祈願料	3,000円からご志納願います (手提げ袋1袋程度につき)



古くなった人形に感謝し、お祓い、お焚き上げをするお祭り「人形感謝祭」を行います。役目を終えた「人形」や「ぬいぐるみ」をお持ち寄り下さい。

# 御社殿屋根修復事業奉賛者芳名

(順不同・敬称略)

令和三年四月一日～六月三十日

現在進捗中の本事業に対し、左記の皆様より  
赤誠あふれるご奉賛を賜りました。  
誌上より厚く御礼申し上げます。

- 【十万円】 井波 久明
- 【八万円】 中嶋 紀光
- 【五万円】 山田 瑠菜
- 岡島 加奈
- 土田 郁夫
- 宮西 宏一
- 株式会社 松下設備
- 【二万円】 森田 保夫
- 【一万円】 説田 紀子
- 長谷川 博
- 止境 敬之
- 【五千円】 金井 実
- 相馬真紀子
- 中野 友香
- 小松 洋一
- 若山 栄
- 河口 高広
- 吉田 奈央
- 丸山 勝裕
- 久田 純一
- 上田 悟美
- 森井美智子
- 大島 功至
- 前田 澄枝
- 谷口 泰之
- 西田 豊郎
- 松井 俊夫
- 小泉 由和
- 柴田 洋子
- 銅板奉納者
- 合口 和子
- 千葉 重幸
- 早川 浩章
- 森田 保夫
- 竹脇 良孝
- 小坂 恒雄
- 栗原健一郎
- 本多 裕子
- 中村久美子
- 古村 勝巳
- 古村 綺脩
- 加藤多鶴子
- 吉川ケイ子
- 深澤 朋子
- 深澤 潤
- 船橋東師勝
- 森井 勇
- 大島 功至
- 佐々木啓吾
- 水上 朋幸
- 水上 ユカ
- 橋 容子
- 山田 泰輔
- 長田 果穂
- 南部 徳盛
- 大橋 優人
- 中村 太治
- 谷口 泰之
- 林道 護
- 高橋 英志
- 佐野 雄一
- 佐々木俊一
- 佐々木 愛
- 佐々木 光
- 平野 雄介
- 田賀 順子
- 西田 豊郎
- 吉松 哲男
- 渋谷 充
- 株式会社 石川電子
- 石瀬 健男
- 中村 竜箕
- 松井 俊夫
- 森田 浩章
- 小泉 正美
- まへだ 接骨院

## ご奉納御礼

- 【参道玉砂利】 株式会社 岡部 竜一殿
- 代表取締役社長 岡部 竜一殿
- 【参道玉砂利敷設奉仕】
- 【雪椿苗木】 株式会社 藤井組 秀之殿
- 代表取締役社長 藤井 秀之殿
- 【境内樹木剪定奉仕】 株式会社 越路ガーデン 倫顕殿
- 代表取締役 西尾 倫顕殿
- 【稲荷社塗装修繕】 鹿熊 秀夫殿
- 【蠶繭染手織「無限」】 日展会友 香川真有美殿
- 現代工芸美術家協会 本会員
- 【大工道具】 富山県神道青年会 神道青年全国協議会 卒業記念 長谷川宏幸殿



以上の皆様よりご奉納を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

蠶繭染手織「無限」奉納奉告祭

## 大輪あさがお展開催

期 間 8月6日(金)～9日(月)  
展示時間 7:00～12:00



## 夏の高瀬の風物詩

今年も南砺市あさがお会(森田光正会長)主催のあさがお展が開催されます。  
期間中、誇らしく花を咲かせた朝顔がご参拝の皆様をお迎えし、真夏の境内を涼やかに彩ります。  
なお、朝顔は朝のうちが見ごろです。お誘い合わせの上、ぜひ皆様で足をお運び下さい。

## 誌面のリニューアルについて

社報「越中一宮」も節目の70号の発刊を迎え、誌面をリニューアルいたしました。いつまでも愛される神社報をめざして、今後も活気ある誌面づくりに邁進いたします。

## 表紙写真

夏詣 ガラスの風鈴―。  
期間中、約二八〇個の風鈴が涼しげな音色を奏でる。

## 編集後記

立川志の輔さんの創作落語「親の顔が見たい」を媒体で鑑賞し大いに笑った。マスク必携

社会の到来により「匿名性」が定着して久しい昨今。マスクの下で交わすお互いの笑顔も、心の眼には必ず見えるはず。(智)



## 結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主命をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、社殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内で  
ロケーションフォトを満喫



## 一日一組限定の おもてなし

完全なプライベート空間で和やかな宴会が実現

すべては一組の新たな夫婦の幸福のために



二人だけでも結婚式はできます。

「だったら、家族は欠かせないかな。」

「折角だから、親戚のみなさんだけでも。」

「できれば、近くに住む友人くらいは...」

列席を減らすのではなく、無理なく増やす。

そんな考え方で結婚式を叶えてみませんか。

挙式のみ〜少人数会食！

高瀬神社は結婚されるすべての方を

歓迎しています。

結婚式をあきらめないでください

